赤穂市役所建設経済部区画整理課　殿

有年駅周辺地区都市再生整備事業に対する意見書

有年地区の住民として、この事業に対する計画及び実施に対して深く感謝致します。今後のさらなる進捗を期待するとともに、少しばかりの意見を申し上げます。

住民の一人として、今、切に感じているのは、この地域社会が、高齢化による崩壊、消滅の危機にあることです。この地区の私の世代の多くは、農業＋近隣企業等への通勤によって、地域を支えてきました。ところが、次の世代の多くは、高校までは自宅から通学し、進学、就職や結婚を機会に、大都市または近隣地域に転出しています。その理由を考えてみると、生活の基盤となる多くの施設が、無くなってしまったからです。私がUターンしてきたのは、30年前ですが、その当時は、小さいながらも商店があり、日常生活が可能でしたが、今は車で買物に行かないと生活できない地域になっています。そのため住民は、幼児時から高齢者まで永住し難くなっています。

そのような実態に対し、次のような事業が行われています。

　　　⑴交通機関を中心とした整備

　　　⑵生活安全を基盤にした整備

　　　⑶歴史遺産の観光を期待した整備

　これらはとても良いことだと思いますが、これだけでは、人口減を食い止めることはできないと思います。生活の核となる商業施設の誘致に対する提案がないからです。おそらく、有年駅付近の国道2号線沿いに商業施設が次々と出来ることを期待しているのだと思いますが、小規模の細分化された土地では進出を考える業者が二の足を踏むのではないでしょうか。

近年の都市開発は、大型商業施設が核となり、その周辺に住宅地が成立しています。この地区においても、核となる商業施設があってはじめて町づくりが成功するのではないでしょうか。その商業施設が駅から適当な距離にあれば、さらに中小の商業施設が次々と出来ることが期待できます。また、商業施設に無料駐車場を整備すれば、地域外からの集客力が増します。国道2号線の相生、三石間のほぼ中央で、国道373号線が合流する付近に、商業施設を誘致し、道の駅、スーパー、食堂、ホームセンター、病院等を作れば、かなりの集客力が生まれます。

この地域には、圃場整備をしていない農地がありますが、水害や野生動物の被害によって、今や耕作放棄地になりかけています。このまま放っておくと野生動物が住み始め、環境悪化が進み、都市再生どころではなくなります。そのような土地が大型商業施設に変われば、地域環境が整備され、有年地区の住民も生活しやすくなり、そこにとどまって住み続ける人も増えていくのではないでしょうか。

　国は、国道２号線の四車線化を進めており、それに合わせて赤穂市は有年駅周辺整備事業に取り組んでいます。同時に、兵庫県は有年地区の千種川洪水対策を進めています。国県市の三者が互いに情報提供し、住民の意見を聞きながら、遊休農地等の活用を図ることで、単独ではできない一ランク上の事業を展開していただきたいと思います。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上